



# 地域ネット活動報告

## 越谷市民ネットワーク

### 越谷ネット 30 周年誌を発行しました

越谷市民ネットワークが代理人運動を始めて 30 年が経ちました。越谷ネットではそれを機に「30 周年の歩み」とう記念誌をつくりました。ネットを立ち上げた当時のメンバーを中心に、昨年 2 月から毎月会議を開き写真と年表中心の 32 ページの記念誌を 1000 部作り上げました。



その作成過程は、生活クラブの活動から多くを学んできたこと、思い切ってネットをつくり選挙に臨んだこと、みんなで調査し学びそれを代理人を通して議会に届けたこと、引き継ぐ人を見つけ運動を発展させてきたことなど、これまでの活動の達成感、活動の楽しさを再認識する作業でした。

この冊子は越谷市で、素朴だけれど「自ら」「みんなで」「主体的に」「地道に」まちをかえてきた貴重な記録だと考えています。

## 市民ネットワーク鶴ヶ島

### 狭山ブロック運動グループオンライン学習 ローカルパーティで政治を変えられるか？

市民ネットワークとして市議会にチームメイトを送る私たちの活動で、何かを変えることができるのだろうか？という自らを振り返ることがテーマの学習会でした。

学習会の 1 週間前、5 月 3 日は憲法記念日。憲法の前文の、「国の政治のあり方を決める力は、わたしたち国民にある」の部分は、国の政治を最終的に決める権利（主権）が国民にあること、つまり国民主権の原則を示しています。

「国民主権」というおとぎ話の呪文は解けるか？の答えは、生活クラブの流儀に見つけました。「必要なものは自分たちでつくるしかない」のは消費材だけじゃありません。

政治に置いてきぼりにされた私たちが、主権者という自覚を失ってきたならば、もう一度、国民主

権を取り戻すのが生活クラブの拘りであり、ローカルパーティの本質です。

国民が忘れられている政治を変えるために何が欠けているのか？」ではなく、考えるべきは「何故変わらないのか」なのだと思います。



## よしかわ市民ネットワーク

### 無農薬大豆を作ろう！に参加

「食と農のまちづくり」について学んできて、その実践として無農薬大豆作りをしています。無農薬農業は土作りも大切ですが、雑草と虫対策が一番大変！草が生えないようにマルチと呼ばれるビニールシートの切れ目に苗を定植したり、さやに入り込む虫対策の為にネットをかけたり、工夫が沢山ありました。ネットの中に虫を入れないために、ネットをめくりあげずに潜り込んで除草するしかなく、その作業は驚くほど大変でした。でも出来た枝豆の美味しかったこと！

枝豆を堪能した後は、刈り取った大豆を乾燥させ、脱穀し、味噌づくりの予定です。



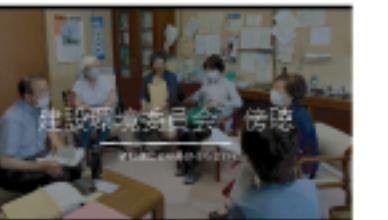
## さやま市民ネットワーク準備会

### 見える！！代理人運動学習会

内容は、

第1回「ネットの活動ってなんだろう」  
第2回「請願 準備ネットはどう動いたか」「新人議員に聞く～あなたはなぜ代理人になったのか～」  
第3回「『狭山の住みごこちアンケート』結果をどう読む」

いずれもパワーポイントを作成して、ZOOMでの参加も呼びかけました。特に「請願」については、支部委員会と共有することで、代理人の役割について、その必要性、重要性について理解が深まったとの報告がありました。今後も内容を常に updateし、広く皆に伝えていくツールとして活用する機会を増やして行きたいと考えています。



## 飯能市民ネットワーク準備会

### 河川ゴミ拾い活動

「川ゴミ拾い」決行。恐る恐る川に降りる。近所の人からどう見られているかなと頭をあげて周りを見たけれど誰もおらず。それよりも崩れたプラゴミの重さに驚愕。しかも、2019年19号台風豪雨が運んで堆積した豊などのプラゴミ。人力ではとうてい引っ張り出せないもの。

なぜこの活動をやろうと考えたか。もちろん、プラゴミ削減、海に流れ着く前に1つでも拾ってマイクロプラスチック化を止めたいからです。車を運転中でも目に付くポイ捨て散乱ごみ。すぐ捨えないのが歯がゆいですが。。。太平洋がプラスチックごみベルトのたまり場。2050年には魚よりもマイクロプラスチックの量のほうが多くなると警告されている。便利なプラ、なんとか変わる方法で生活していく転換時期にあると感じています。



## はにゅう市民ネットワーク

### 熊谷ブロック 第2回代理人運動学習会を終えて

7月 12 日、熊谷地域協議会主催で、代理人学習会が開かれました。辻県議のパワポ紙芝居を使っての（ネットとは何ぞや）という説明はとても解りやすく楽しめ勉強できました。その後の越谷市民ネットの 30 年の歴史は大変なご苦労があった事と思われました。

またはにゅう市民ネットの斎藤市議からは議会傍聴ツアーやラインを使ってのアンケート調査等、日々の活動報告がありました。参加者からもどのネットも楽しそうに活動していて、一人ではなく、皆の話し合いで決めていく、ネットの活動に大いに関心を持っていただけたようでした。

